カテゴリー別総合検査案内 6

病理組織検査

■ 病理組織検査　■ 皮膚病理組織学的検査　■ 写真による皮膚病臨床評価
■ 院内剖検後の病理検査セット　■ 免疫染色

検査価格はp.72をご覧ください。

検査項目名	検査材料		保存方法	所要日数※1	報告
病理組織検査※2 （所見あり，所見なし）	ホルマリン固定組織		室温	2〜3	日本語
	作製済みのスライド標本				
皮膚病理組織学的検査※2・※3	ホルマリン固定組織			8〜10	
	作製済みのスライド標本				
写真による皮膚病臨床評価※3	写真等				
院内剖検後の病理検査セット※3・※4	ホルマリン固定組織 （生検体の病理解剖は実施していません）			1〜2ヶ月	
免疫染色※5				〜14	
骨髄検査セット※2	骨髄コア生検	ホルマリン固定組織		4〜6	
		作製済みのスライド標本			
	骨髄吸引塗抹	塗抹標本			
	血液塗抹				
c-KIT遺伝子変異検査※6	病理組織パラフィン切片 細胞診標本			7〜10	
リンパ球クローン性解析※6	病理組織パラフィン切片 細胞診標本 血液塗抹 骨髄塗抹				

※1　所要日数は検体の弊社到着日を0日とし，土・日・祝日を除く営業日で計算いたします。なお，固定が不十分な検体，脱灰操作が必要となる硬組織検体，内部コンサルテーション（難解な症例について，日本国内外の病理診断医によって実施。追加料金なし），特殊染色（担当診断医が必要と判断した場合に実施。追加料金なし）の場合は，通常よりさらに若干日数を要します。
※2　再固定・脱灰・再薄切・特殊染色・追加切り出しのため所要日数を超える場合がございます。場合により1ヶ月以上要することがあります。
※3　皮膚病理／写真による皮膚病臨床評価／院内剖検後の病理検査セットについてはホームページ（www.idexx.co.jp）から専用依頼書（PDF）をダウンロードしてご利用ください。また皮膚病理検査／剖検の進め方については，お客様専用サイト（www.idexxjp.com）＞外注検査＞検査依頼ノウハウ集＞病理組織検査/細胞診ノウハウコーナーもあわせてご参照ください。
※4　ご依頼の際は，事前にカスタマーサポート（0120-71-4921）までご連絡ください。
※5　病理組織検査の結果，担当診断医が必要と判断した場合，追加検査としてご依頼いただけます。
※6　当検査は弊社にご依頼いただいた病理または細胞診診断の結果ご報告後，**追加検査としてのみ**ご依頼いただけます。
注1　パラフィンブロックは3年間，スライド標本は3ヶ月，ホルマリン組織の残りは3週間保管しその後は処分させていただきます（輸送容器ならびに写真・CDなどの添付資料は返却できません）。
注2　提出いただいた検体（パラフィンブロック，ホルマリン組織の残り）は返却しておりません。
注3　割増価格についてはp.73をご参照ください。
注4　参考スライドは病理診断医が必要と判断した場合のみ鏡検します。また，参考スライドの細胞診診断医は指名できません。

c-KIT遺伝子変異解析

肥満細胞腫（MCT），消化管間葉系腫瘍（GIST）ではc-KIT遺伝子の機能獲得変異が見られる症例に対するメシル酸イマチニブ（グリベック），リン酸トセラニブ（パラディア）の治療効果の指標となります。本検査ではc-KIT遺伝子の主たる機能獲得変異の有無を検査します。

リンパ球クローン性解析

リンパ球クローン性解析ではPCR法を用いて，検査材料中に含まれるリンパ球集団が同一の遺伝子再構成パターンを有しているか否かを検出します。この検出により，リンパ系腫瘍か否か（クローン性があるのかないのか），またリンパ系腫瘍であれば，B細胞由来であるかT細胞由来であるかの判定に有用です。
対象疾患：リンパ系腫瘍（形質細胞由来含む）の評価

病理組織診断の「所見なし」診断サービスについて

診断名およびコメントのみのご報告となりますが，所見ありのご報告に比べてご利用いただきやすい価格となっております。

（ご利用例）

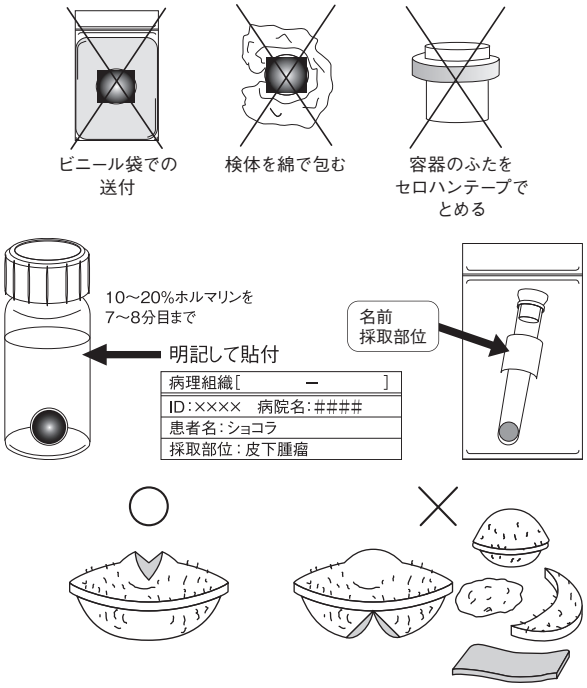
- 脂肪腫など明らかに良性の病変と思われる場合
- 一部切除生検および細胞診などで確定診断がついた症例の完全切除や拡大切除におけるマージン評価等
- 不妊・去勢手術後の生殖腺完全摘出の確認

注1 所見なしサービスをご希望の場合は，依頼書の右上の「所見の有無」に必ず「無」をマークしてください。ご記入がない場合は所見ありの診断を実施いたします。

検体の固定

(1)組織の固定には，10 ～ 20％ホルマリン溶液をご使用ください（ホルマリン原液を5 ～ 10倍希釈）。最適な固定には，組織の10倍量のホルマリン溶液が必要とされています。

(2)大きさ5cmを超える組織塊には，固定を促進するために部分的に割を入れてください。ただし，マージン評価をご希望の場合は，マージン部分を避けて割を入れてください。



検体の提出

(1)「広口」のプラスチック容器を使用してください。ガラス瓶やビニール袋での検体送付は行わないでください。ホルマリンが漏れて検体が破損・紛失する可能性があります。

(2)特に大きい検体はプラスチック容器が割れないようエアーマット等で包み，チャック付きビニール袋に入れて送付します。

(3)異なった部位からの複数の標本は別々の容器に入れ，それぞれの容器に採取情報を記入します。

(4)容器の再利用は避けてください。前回の提出時の検体が容器中に残留している場合があります。

(5)小さな組織断片（内視鏡生検，針生検，パンチ生検標本等）をガーゼや綿等で包むと，標本が絡み付いて分離できなくなることがありますので，検体送付用チューブや包理セット等の容器にそのまま入れます。

(6)舌圧子やその類似物に標本を載せないでください。これらはしばしば容器内で剥がれ落ち，標本の識別ができなくなることがあります。

(7)マージンコメントを必要とする場合は，標本の辺縁部を切り取らないでください。手術後の切開創を真の手術マージンと区別することは困難あるいは不可能です。

(8)送付中のトラブル（破損等）を防ぐため，宅配便の「割れ物扱い」等のご利用をお勧めします（p.6参照）。

(9)細胞診標本を一緒に提出する場合，ホルマリン固定した病理検体とは必ず別々のチャック付袋等に入れ，しっかり密封した状態で送付します。

検体提出に際してのご注意

以下の点にご注意ください。

(1)依頼書の該当欄に全ての情報を正確に記入します。

- 病歴，臨床徴候，治療内容，治療への反応。
- 病変の肉眼的所見（病期，分布，個数，大きさ，色，硬さ，重症度など）。
- 提出標本の採取部位。
- 提出標本の総数（採取部位にかかわらず提出組織の総数）。
- 同時に提出した病理組織検査以外の検査項目や，以前に実施した検査の結果（弊社をご利用された際は，検体番号をご記入ください）。
- 画像診断所見（もしあれば。レントゲン，エコー，内視鏡等）。
- 病変の写真。デジタルカメラで撮影した写真はプリントアウトして依頼書に添付，もしくは電子メールで“laboratoryservices-jp@idexx.com”あてにお送りください。必要に応じ病変を矢印等で写真に明示してください。
- 疑っている疾患名や特に知りたい質問事項等。

(2)特定の診断医（日本国内外を問わず）をご希望の際，ご希望に添えるように努力します。万一該当診断医が不在の場合は，報告遅延を避けるため弊社より連絡を行い，その診断医をお待ちいただくか他の診断医に切り替えるご選択をしていただきます。

(3)以下の場合ご依頼をお受けできないことがございます。

- 組織がホルマリン固定されていない場合
- ホルマリンが漏れて組織が乾燥している場合
- 採取後時間をおいて固定されたために組織が変質している場合
- 組織が凍結されている場合

マージンコメントについて

以下の場合は評価できません。

- 一部組織，マージン部分を切り取られた組織
- 体腔内組織
- マージンに割が入って変形した組織

院内剖検後の病理検査セットについて

死亡症例は基本的に院内剖検後の病理検査セットでの取り扱いとなります。ご依頼の際は，事前にカスタマーサポート（0120-71-4921）までご連絡ください。専用依頼書などのご案内を差し上げます。

皮膚病理診断サービス

アイデックスでは皮膚科専門医による皮膚病理診断サービスをご提供しております。病理組織学的診断，所見，治療アドバイスを含むコメントにより，皮膚疾患の診断をサポートいたします。また，専門医ならではの写真（Eメールで送付可能）および臨床情報のみによる評価（写真による皮膚病臨床評価）も可能です。病変部の採取が難しい場合など，特に有効にご利用いただけるサービスです。

【診断医】
関口麻衣子先生
（獣医学博士，日本獣医皮膚科学会員，アジア獣医皮膚科学会員）
伊從慶太先生
（獣医学博士，日本獣医皮膚科学会員，アジア獣医皮膚科学会員）

【ご依頼方法】
専用の皮膚病理診断依頼書フォームをホームページ（www.idexx.co.jp）からダウンロードください。
ホーム > コンパニオンアニマル > 検査サービス > 総合検査案内 > 検査依頼書 > 皮膚病理検査・写真による皮膚病臨床評価依頼書（PDF）

またFAXまたはEメールでもお送りできますので，下記にご請求ください。
アイデックス ラボラトリーズ株式会社 カスタマーサポート
TEL：0120-71-4921／Fax：03-5301-6701

IDEXXベットコネクト プラス
会員様限定サービス

インターネット接続されたお手持ちのパソコン，タブレット，スマートフォンで検査結果を閲覧することができます。検査室・診察室・受付でいつでも検査情報を閲覧でき，学会や自宅などでも患者様の検査結果をリアルタイムに確認できる無償サービスです。

「IDEXXベットコネクト プラス」から，全患者様において病理組織検査の画像閲覧（代表写真1枚）ならびに画像付きの結果報告書の印刷も可能です。

注1 細胞診の画像閲覧・印刷はできません。
注2 写真には部位の記述や説明はございません。

さらに，飼い主様にマージンを示すなど追加で写真だけ欲しいというご要望の場合「IDEXXベットコネクト プラス」を通じ 病理画像を5枚追加でご提供する有償サービスもご用意しています。
有償サービス価格についてはp.73をご参照ください。

「IDEXXベットコネクト プラス」サービスお申し込みなどの詳細はお客様専用サイト（www.idexxjp.com）をご覧ください。